



聖日礼拝プログラム

今週のみことは

主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられました。それは、あなたがたが、キリストの貧しさによって富む者となるためです。

IIコリント 八・九



司会者	渡邊貞雄師	奏楽者	渡邊頼子師
讃美	新102	主はいのちを	(起立) 一同
主の祈り			(起立) 一同
讃美	新388	いとも良きものを	
交読	詩篇 27	: 1 ~ 6	
祈禱			司会者
報告			司会者
聖書	IIコリント 8	: 1 ~ 15	司会者
説教	「主にある豊かさ」		渡邊貞雄師
献金	新393	献げまつりし	北村幸子姉
頌祝	新63	父、御子、御霊の	(起立) 一同
祈禱			

受 = 中川 姉 / 操 = 中川 兄 / A = 幸子 姉 / 報 = 牧師
 〒515-0044 三重県松阪市久保町 1445-7 COG 松阪キリスト教会
 TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊 貞雄
 FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊 頼子

2019年11月17日 VOL. 42-46 No. 2246 URL <http://matukyo.com/>
 Email sadao@mctv.ne.jp

ご報告・消息欄

- ▼ 紅葉の秋も深まり、朝夕の寒さが急に加わりました。インフルエンザ流行の兆しとか、今週も「勤労感謝の日」を含む一週間、祈りをもって歩ませて戴きましょう。
- ▼ 本日の昼食後に、教会の清掃とクリスマス装飾の奉仕を予定しています。許される方はご協力ください。
- ▼ 礼拝後に、クリスマスのための短いコーラス練習の 때가、持たれますのでよろしく。

- ▼ 来週聖日は、月一回の「ガラポン組会」となります。豊かな学びとお交わりになりますように。
- ▼ メキシコ宣教師の阿部和子先生は、巡回奉仕を終え、先週15日(金)にダラス経由でメキシコ(グアダハラ)に無事戻られました。感謝!



にれ はみ

2019年11月10日
聖日礼拝
ピリピ3:1~21
「天国の希望に生きる」
説教 渡邊貞雄 師



この3章の後半に涙を流すパウロの姿に出会います(18)。目に一杯涙を浮かべ、涙を拭きつつペンを走らせたのでしょうか。

I、敵と呼ばれる存在(19)

「十字架の敵」とあるが涙の訳を4つ挙げてみよう。①「最後は滅び」。彼らの先に道はなく危険と滅びが待っていた。②「欲望を神とする」。直訳は「腹」で、心の向き方、方向が違うこと。霊的でなく肉的、世的関心で一杯であった。③「恥」。様々な人間的な誇りを意味した。パウロはキリストに出会い、この誇りを塵芥(ちりあくた)として捨ててしまった(8)。④「思いは地上のこと」。律法を守り、自分の偉さを気にして自己満足、他者を見下げる姿。この教えでガラテヤ教会は土台から混乱し、喜びに溢れるピリピ教会は、守られた(4章)。

II、パウロが示すもの

①「国籍は天にある」(20)。私たちにとって国籍は大切です。国外に行く際は、そのことを実感します。私たちは天国への国籍を戴いた者たちなの

です。

②「再臨」(20)。主が再び来られることで、理不尽で不公平な地上に完全な公平をもたらして下さる。その主イエスに出会う希望の時です。

③「栄化」(21)。私たちが栄光の体とされること。欠けと痛みの多い魂と体の両方を、神様が完全な甦りの体に回復し下さることで、大きな喜びと希望の時です。

III、先日のニュースで

11歳の天才少年が、従来の無神論者の天文学者等に対して、無から有は理に合わず、神が創造されたことの方が、理にかなっていると大反論しました。神は居られるのです。

パウロは「私に倣う者となれ」と後輩に語りました(17)。主の姿を慕い十字架に従うパウロ、その背中を見て育った愛弟子たちがいたのでした。

私たちも、先輩、親、他を導く者として、涙をもって「十字架の敵」を乗り越え、信仰の道を歩ませていただきましょう。

世界のニュース



◎がんと闘った娘との記録『隣に座って』

テーマは「霊性とグリーフケア」について。

講師は翻訳家中村佐知さん。中村さんは3年前に家族を亡くした体験を通して、どのような悲しみ(grief)の過程を歩んできたのか、証を交えながら日本でも広く知られるようになってきたグリーフケアの大切さについて語った。

中村さんは、2016年にステージ4の胃がんで在宅ホスピスを受けていた次女的美穂さんを看取った。がんの宣告から11か月、21歳の若さだった。この日々をつづった『隣に座って～スキルズ胃がんと戦った娘との11か月』（いのちのことは社）が今秋出版された。

◎祈禱会11/13(水)「もしかすると！」

渡邊師 エステル記4:14

エステル記には「神」の語が見あたりません。出来事が偶然？神の導き？と色々と感じます。日本も「真の神」を語り難い中で励まされます。

①モルデカイ。エステルはいとこで養父でした。彼は王の暗殺を未然に防いだが、何の褒美もない中で、坦々と信仰を歩みました(6:1~3)。

②ハマン。ユダヤ人抹殺計画の首謀者。王

◎九州宣教フォーラム2019

「教職・信徒の宣教協力」

竿代師は「教職・信徒の宣教協力」テーマに竿代氏「プロ・アマ」意識の克服を「役割の違いはあっても上下関係はない」と語られた。

日本福音同盟(JEA)は第6回日本伝道会議(JCE6)のテーマを継承し、JCE7(2023年)へつなぐ宣教フォーラムを毎年開催しているが、今年は九州で開催された。

竿代照夫氏(インマヌエル綜合伝道団牧師)が「福音のために共に戦うー宣教協力ー教職と信徒のチーム力のステップアップ」と題して講演した。

竿代氏は「霊を一つにして堅く立ち、福音の信仰のために心を一つにしてともに戦っていて、どんなことがあっても、反対者たちに脅かされることはない」(ピリピ1:27、28)を主題聖句に講演。

の側近の自分も人より偉いと錯覚してしまった人(5:9、他)。

③エステル。養父から「この王国に来たのは、もしかすると…」と語られた(4:14)。彼女は危険なリスクを承知で、チャンス100%使い切った人。「謙る者への恵み」を与える神であられる。

(ヤコブ4:6)



こ れ か ら の 集 会

- ◎11/24(日) ガラポン組 会
- ◎11/25(月) C O G 特別 理事会
- ◎11/25(月) C O G 定例 理事会
- ◎11/26(火) ホーリネス諸教団懇談会
- ◎11/30(土) 共生園・評議委員会

◆今週の祈禱会 (司) 岡山姉 (説) 頼子師

- 来週 礼拝 **ピリピ4 : 1 ~ 2 3**
- 主 題 **「主にある喜び」**

定 期 集 会 の ご 案 内

- ◇楽しい組会 (日) 午前10:00~10:45
- ◇聖日礼拝 (日) 午前11:00~12:00
- ◇早天祈禱会 (火土) 朝6:30~7:00
- ◇祈 禱 会 (水) 午後7:00~8:15

来 週 の 奉 仕 者

- ◎ 礼拝司会 中川兄
- ◎ 礼拝奏楽 頼子師
- ◎ 礼拝献金 福田姉
- ◎ 受 付 岡山姉
- ▽ 教会学校 随 時
- ▽ ヤ ン グ
- ▽ ア ハ ン
- ▽ ホ レ ブ
- ▽ 教会ナビ 教 役 者
- ▽ 昼食当番 な し
- ▽ アツシャー 北村兄
- ▽ S S 入力 頼子師
- ▽ P P T 操作 小坂姉

ガラポン組 会

《《《 2019年スローガン「愛は建て上げる ~会い・合い・愛~」 エペソ4:16 》》》
「キリストによって…組み合わせられ、つなぎ合わされ、…愛のうちに建てられる」

●一貫して自信をもって祈りをささげよ。祈りは、我々に与えられた最も貴重な恵みの一つで、個人の才能や情熱を最高レベルに引き上げてくれる。祈る力は、つらい時期には、それを

乗り切る援軍となり、頂上に到達したときには、それを称える祝砲の役目を果たしてくれる。
コンラッド
・N・ヒルトン



①聖書のヨハネ4:24には以下の様に勧められています。「神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」



②始まる時間と、5分前の着席を心がけ、奏楽や賛美を聞きながら心の準備をし、待ち望みましょう。

- ③賛美は感謝の心をもって、主をたたえつつ歌いましょう。
- ④語られる言葉(メッセージ)の背後にある、神のことばに耳を傾けましょう。
- ⑤献金は神への感謝を具体的に表現するものです。心からの喜びをもっておささげしましょう。
- ⑥その他、携帯音を止めておいたり足音や会話にも心を用いて出席しましょう。
- ⑦やむを得ず礼拝を休む場合は、牧師(教会)に連絡をしましょう。